

平成23年度九州史学会大会の御案内

拝啓 皆様にはますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、来る12月10日(土)、11日(日)の2日間にわたり、平成23年度九州史学会大会を下記の要領にて開催致すはこびとなりました。ご多忙の折りとは存じますが、本学会の一層の発展のため、ふるってご参会下さいませようご案内申し上げます。 敬具

九州史学会大会次第

於九州大学

12月10日(土) シンポジウム

法文系講義棟101番教室(午後1時30分より)

「倭の五王は何を学んだか—東アジア世界と倭の変容—」

倭の五王は何を学んだか—趣旨説明にかえて—

九州大学 田中良之

倭の五王時代の倭国と外交—官号自称と除正を中心として—

九州大学 川本芳昭

五世紀の銘文刀剣と倭王権の支配体制

東洋大学 森 公章

倭の五王の時代と鏡

九州大学 辻田淳一郎

懇親会 九州大学生協理農食堂(箱崎理系キャンパス内)(午後6時より) 会費3,000円(学生1,000円)

12月11日(日) 研究発表

(午前9時より)

＜日本史部会＞(法文系講義棟102番教室)＜午前9時開始＞

古代の老岐の豪族について

佐世保 高 専 堀 江 潔

日唐令に見える占星術関連規定と修史制度—天聖雜令との比較を中心—

活水 女子大学 細 井 浩 志

隋唐の国際秩序と倭国

日本学術振興会特別研究員 河上 麻由子

享祿二年薩隅日「三ヶ国和平」交渉の検討

福岡市教育委員会 水 野 哲 雄

蛇梁倭変と対馬

九州大学 佐 伯 弘 次

享保期における対馬藩の「求請」—献上鷹の事例を中心—

九州大学 島 村 崇

元禄期国境争論における論拠資料

九州大学 原 田 茜

權太先住民の国籍—国籍不明から日本臣民へ—

九州大学 加 藤 絢 子

九州帝国大学法文学部のアジア研究と研究所構想

九州大学 藤 岡 健太郎

＜東洋史部会＞(法文系講義棟204番教室)＜午前9時開始＞

11世紀後半北宋の対夏交渉における理念と現実

九州大学 吉 岡 宏 治

清朝治下カシュガルの政治・外交空間—1795年のコーカンド使節受入を事例—

東北学院大学 小 沼 孝 博

宋元交替期の徽州知識人による地域社会の保全とその記憶

九州大学 于 磊

漢代における刑罰規定と体系—死罪の検討を中心として—

九州大学 塩 田 孝 浩

司馬相如「大人賦」と武帝期の祭祀

九州大学 井 上 雄 介

和蕃公主から見た華夷観

九州大学 蕭 家 如

扇から見る14-16世紀東アジアの多角的交流

九州大学 呂 晶 森

朝貢とアジア諸国間交流—乾隆26年の朝鮮・越南・琉球・南掌—

九州大学 沈 玉 慧

後漢順帝の親政と外戚輔政の展開

早稲田大学 渡 邊 将 智

北魏前期の爵制とその本質的機能—仮爵を中心—

岡山大学 大 知 聖 子

藩鎮再考

福岡大学 山 根 直 生

隋より宋に至る綬制の展開—「花綬五等」から「七等綬」へ—

中央大学 阿 部 幸 信

前漢武帝期政治制度史再考—近年の研究動向をふまえて—

新潟大学 富 田 健 之

＜朝鮮学部会＞(法文系講義棟202番教室)＜午前9時30分開始＞

新羅の東西交易体制—「倭典」再考—

九州大学 濱 田 耕 策

忠清道沿海における宋使船の航路—『高麗図経』の事例—

九州大学 森 平 雅 彦

朝鮮と後金の通商摩擦について—開市と越境採蔘をめぐる紛争を中心—

東京大学 辻 大 和

朝鮮王朝の北辺充実政策—徙民と刷還—

北九州市立大学 山 本 進

近世・近代日本における朝鮮語修得者について

九州大学 金羽彬

朝鮮総督府の土木官僚坂本嘉一

福岡大学 広瀬貞三

新女性朴仁徳における愛国から親日への軌跡

鹿児島国際大学 井上和枝

ソウルオリンピックをめぐる東ドイツと北朝鮮の協調と摩擦―旧東ドイツ資料から見たグローバル冷戦史の一事例―

九州大学 井岡博

韓国におけるナショナリズムについて

県立広島大学 原田環

<イスラム文明学部会> (法文系講義棟302番教室) <午前10時30分開始>

特別企画「アジア文化研究会・若手ユーラシア研究会の時代」

午前の部発表 (10時30分～12時前)

趣旨説明・司会 九州大学 清水宏祐

一期の夢―第1次アジア文研とその後―

甲南大学 堀直

アジア文化研究会 塞外の青い雲

東京大学 小松久男

午後の部発表 (13時15分～14時45分)

司会 京都外国語大学 堀川徹

なぜ若手ユーラシア研究会を立ち上げなければならなかったか

九州大学 森川哲雄

アジア文化研究会の記録と若手の動向をたどって

東海大学 片山章雄

アジア文化研究会 1967～69年 夏合宿の思い出

創価大学 林俊雄

コメント・情報提供・記憶確認 (15時～17時)

司会 中央大学 梅村坦

大阪大学 森安孝夫・東洋大学 真田あほか

<西洋史部会> (法文系講義棟301番教室) <午前10時開始>

19世紀イギリスの女性預言者・ジョアンナ・サウスコット―「神の子妊娠」と出版文化―

九州大学 清原和之

近世イギリスの鉱物資源政策―すずと銅をめぐる―

九州工業大学 水万里子

「ハンザ都市」ブレーメンの商業と対ハンザ関係

長崎県立大学 谷澤毅

「音楽堂のウィッラ」とローマ近郊

大阪国際大学 鷺田睦朗

「ハミルトン体制」におけるS. U. M. 計画―「製造業に関する報告書」とテンチ・コックスの構想の再検討を中心に―

広島経済大学 田宮晴彦

戦間期ドイツにおけるナショナル・コミュニストの登場―義勇軍指導者ヨーゼフ・ベッポ・レーマーを例に―

東京大学 今井宏昌

大戦間期イギリス帝国における資源保全

九州産業大学 水野祥子

<考古学部会> (法文系講義棟101番教室) <午前9時30分開始>

房総半島の墓地・集落遺跡からみた縄文時代後期の社会

石川健

甕形土器からみた遠賀川系土器の成立と展開

福岡県教育庁 大森真衣子

胎土分析による玄界灘沿岸地域弥生中期土器の地域性

九州大学 石田智子・米村和紘

北部九州における弥生時代後期の石庖丁生産と流通

佐賀県教育庁 渡部芳久・熊本県教育庁

沓崎カラカミ遺跡からみた弥生時代の鍛冶と交易

能登原孝道・九州大学 小山内康人

中国東北地域における紀元前二千年紀の編年について―朝陽市・袁台子遺跡を中心として―

九州大学 宮本一夫

韓半島青銅器時代嶺南地域における土器製作技術

全南大学 趙鎮先

瓦の製作技法からみた国分寺造営―西海道南半を中心にして―

九州大学 三阪一徳

豊前地域における古代寺院の諸相―選地・周辺環境と瓦当文より―

九州大学 早川和賀子

高麗陶器の分類と編年

名古屋大学 梶原義実

獣骨データと表面踏査データからみる古代イタリア農畜産業の推移

九州大学 主税英徳

別府大学 池口守

当日は、入口の各部会受付にて、参加費1,500円(2日間)をお支払いください。

なお、本大会出席のため、所属機関への出張依頼を必要とされる方は、下記事務局までご連絡下さい。

〒812-8581 福岡市東区箱崎6-19-1 九州大学文学部九州史学会事務局(日本史学研究室) 電話 092-642-2375

E-mail: shigakkai@lit.kyushu-u.ac.jp; http://www.lit.kyushu-u.ac.jp/shigakkai/